



京都府立宮津天橋高等学校

フィールド探究部 丹POPO班

京都府宮津市滝馬23

100年の木と1年の花
～人との繋がりは永遠に～

Action

私たちフィールド探究部は、丹後地域の資源への理解を深め、新たな価値を創造する活動を行っています。自分自身が気になったことを追求して得た、気付きや考えを丹後の魅力として発信しています。その中でも今回は、巨樹と在来種のタンポポについて紹介します。

地表から130cmの高さの幹周りが3mを超えている木を巨樹とすると、環境省で定められています。これをもとに4年間の調査を行い、3108本の記録が完了しました。また、結果や考察をまとめた「海の京都・丹後の巨樹ものがたり」という本を出版しました。

タンポポ調査は、偶然見つけた在来タンポポに魅了されたことをきっかけに始まりました。生物多様性の保全などが求められる社会で、このタンポポを守るべきかを明らかにするために調査を行い、7種の在来タンポポを発見しました。

巨樹や在来タンポポがなぜそこに生育しているのか。調査結果から見えてきたのは、自然と人の多様な繋がりで。